

# Ⅲ 授業科目及び履修方法

## 2020年度以降入学生用 教育課程表(授業科目開講一覧表)

\*開講時期は、変更となる場合があるので、毎年シラバス等で確認すること。

科目区分	科目コード	科目ナンバリング	科目名	単位数			開講時期(●)				担当教員	
							1年		2年			
							春	秋	春	秋		
基礎科目	5101	HSAL1001	健康科学特論Ⅰ	2			●				後藤勝正、金井章、石田和人、富田秀仁	
	5102	HSAL1002	健康科学特論Ⅱ	2				●			肥田岳彦、蒔田寛子、藤井徹也	
専門科目	リハビリテーション学領域	5105	HSBM1001	障害回復支援理学療法論	2				●			後藤勝正、富田秀仁、小竹伴照
		5106	HSBM1002	病態運動学論	2			●				金井章
		5108	HSCM1001	運動機能解析学特論	4			●				金井章
		5110	HSCM1002	生体機能学特論	4			●				後藤勝正
		5113	HSCM1003	生体構造学特論	4			●				肥田岳彦
		5114	HSCM1004	リハビリテーション神経科学特論	4			●				石田和人
		5115	HSCM1005	身体運動制御学特論	4			●				富田秀仁
		看護学領域	5126	HSDM1001	在宅・家族看護学特論	4			●			
	5127		HSDM1002	実践看護基礎学特論	4			●				大島弓子
	512A		HSDM1003	実践看護技術学特論	4			●				藤井徹也
	5128		HSBM1003	看護倫理論	2				●			大島弓子
	5129		HSBM1004	看護理論	2			●				大島弓子
	512B		HSBM1005	周術期看護管理論	2			●				中村裕美
	512C		HSBM1006	がん医療社会学論	2				●			大野裕美
	512D		HSBM1007	老年看護援助論	2				●			山根友絵
	専門基礎領域	5131	HSEM1001	適応生理学論	2			●				後藤勝正
		5132	HSEM2008	医療統計論	2					●		中川博文
		5133	HSEM1002	生体構造論	2			●				肥田岳彦
		5134	HSEM1003	研究論	2			●				金井章、蒔田寛子、加藤知佳子、肥田岳彦、藤井徹也
		5135	HSEM2009	対人コミュニケーション論	2					●		加藤知佳子
5138		HSEM1004	コンサルテーション論	2				●			桂川純子	
5139		HSEM1005	老年期地域健康支援論	2			●				石田和人	
513C		HSEM1006	神経科学健康論	2				●			石田和人	
513D		HSEM1007	身体運動解析論	2				●			富田秀仁	
513F		HSEM2010	ストレスマネジメント論	2					●		本年度は開講せず	
課題研究科目	5141	HSFM1001	健康科学特別研究Ⅰ	2				●			後藤勝正、金井章、石田和人、肥田岳彦、富田秀仁、大島弓子、蒔田寛子、藤井徹也	
	5142	HSFM2002	健康科学特別研究Ⅱ	4					●			
	5143	HSFM2003	健康科学特別研究Ⅲ	6						●		

## 2019年度以降入学生用 教育課程表(授業科目開講一覧表)

※開講時期は、変更となる場合があるので、毎年シラバス等で確認すること。

科目区分	科目コード	科目名	単位数			開講時期(●)				担当教員
						1年		2年		
			必修	選択	自由	春	秋	春	秋	
基礎科目	5101	健康科学特論Ⅰ	2			●			後藤勝正、金井章、石田和人、 富田秀仁	
	5102	健康科学特論Ⅱ	2				●		肥田岳彦、蒔田寛子、藤井徹也	
専門科目	リハビリテーション学領域	5105	障害回復支援理学療法論	2			●		後藤勝正、富田秀仁、小竹伴照	
		5106	病態運動学論	2			●		金井章	
		5108	運動機能解析学特論	4			●		金井章	
		5110	生体機能学特論	4			●		後藤勝正	
		5113	生体構造学特論	4			●		肥田岳彦	
		5114	リハビリテーション神経科学特論	4			●		石田和人	
		5115	身体運動制御学特論	4			●		富田秀仁	
	看護学領域	5126	在宅・家族看護学特論	4			●		蒔田寛子	
		5127	実践看護基礎学特論	4			●		大島弓子	
		512A	実践看護技術学特論	4			●		藤井徹也	
		5128	看護倫理論	2				●	大島弓子	
		5129	看護理論	2			●		大島弓子	
	専門基礎領域	5131	適応生理学論	2			●		後藤勝正	
		5132	医療統計論	2				●	中川博文	
		5133	生体構造論	2			●		肥田岳彦	
		5134	研究論	2			●		金井章、蒔田寛子、加藤知佳子、 肥田岳彦、藤井徹也	
		5135	対人コミュニケーション論	2				●	加藤知佳子	
		5138	コンサルテーション論	2				●	桂川純子	
		5139	老年期地域健康支援論	2			●		石田和人	
513C		神経科学健康論	2				●	石田和人		
513D		身体運動解析論	2				●	富田秀仁		
課題研究科目	5141	健康科学特別研究Ⅰ	2			●		後藤勝正、金井章、肥田岳彦、 石田和人、富田秀仁、大島弓子、 蒔田寛子、藤井徹也		
	5142	健康科学特別研究Ⅱ	4				●			
	5143	健康科学特別研究Ⅲ	6				●			

## 修了要件

次の要件を満たしているときは、修了を認めることとする。

- ① 学生は2カ年以上在学すること。
- ② 履修要件に定める授業科目を履修30単位以上を修得し、論文審査に合格すること。

基礎科目 : 4単位必修  
「健康科学特論Ⅰ」 2単位必修  
「健康科学特論Ⅱ」 2単位必修

専門科目 : 14単位以上  
所属領域の特論科目 4単位必修  
専門基礎領域およびその他の科目 10単位以上

課題研究科目: 12単位必修  
「健康科学特別研究Ⅰ」 2単位必修  
「健康科学特別研究Ⅱ」 4単位必修  
「健康科学特別研究Ⅲ」 6単位必修

ただし、履修単位の上限は40単位とする。

- ③ 研究指導員の指導を受けたうえで、当該領域の目的に応じ、修士論文を提出し、修士論文審査および試験に合格すること。

## 豊橋技術科学大学大学院との単位互換制度について

本大学院では学術的及び教育・研究の充実をはかることを目的とし、大学院単位互換制度を設けています。

教育研究上の必要に応じて協定締結校である豊橋技術科学大学大学院で開講されている授業科目を履修することができます。

この制度に基づいて履修した授業科目の単位は、6単位を超えない範囲で修了要件に必要な単位として算入されます。（「豊橋創造大学大学院単位認定に関する規定」参照）

本大学院とは異なる分野の科目を履修することができるので、履修を希望する学生は指導教授と相談のうえ、所定の期日までに手続きをしてください。